

※本プレスリリースは、共同プレスリリースです。配信が重複する可能性がありますので、ご了承ください。

DAL



2024年8月20日

株式会社データ・アプリケーション
株式会社アドバンスト・メディア

Press Release

データ・アプリケーションとアドバンスト・メディア、 音声注文 AI 解析ソリューションの PoC※1 を実施

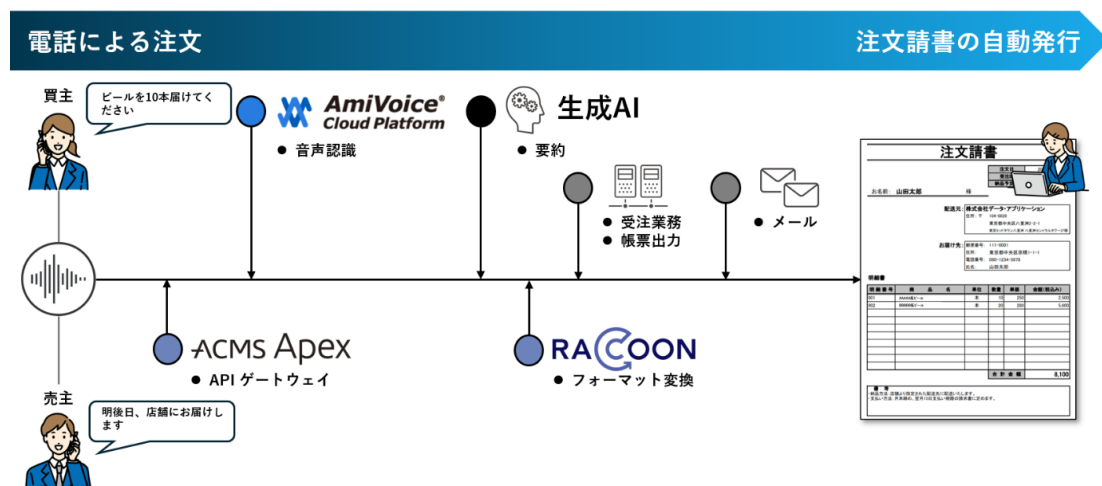
～人間の対話を音声認識技術と生成 AI でデータ化、音声会話での受注業務を自動化～

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：安原 武志、略称：DAL、スタンダード市場：3848）と株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、音声注文 AI 解析ソリューション（仮称）の PoC を実施しましたのでお知らせします。

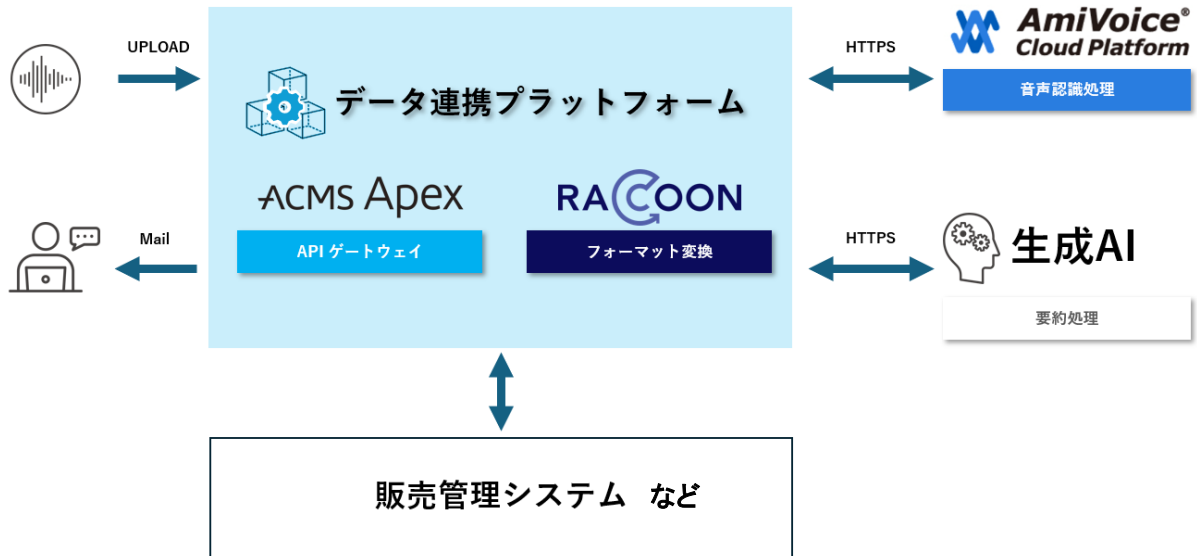
音声注文 AI 解析ソリューションとは、売主と買主の電話による音声注文をデジタル化し、販売管理システムと連携させ、買主への注文請書発行までを自動化するものです。

アドバンスト・メディアの開発者向け音声認識サービス「AmiVoice Cloud Platform（アミボイスクラウド プラットフォーム）」にて提供している音声認識 API「AmiVoice API」と、生成 AI サービスとの連携により、会話の内容をデータ化します。また、販売管理システムとの連携には、DAL のエンタープライズ・データ連携プラットフォーム「ACMS Apex（エーシーエムエス エイペックス）」およびデータ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON（ラクーン）」を使用しており、音声のテキスト化、要約、注文請書の自動生成、買主へのメールによる送付を自動化しています。音声注文 AI 解析ソリューションにより、買主-売主間のインターフェースはそのまま維持しながらも、売主側の受発注業務の効率化、人的ミスの削減、正確性の向上といった効果が見込まれます。また、自動生成されたデータは、販売管理システムだけではなく、在庫管理システムや基幹システムなどへもデータ連携することが出来ますので、在庫管理や VOC の分析にも活用することができます。

【ソリューションイメージ図】



【システム構成図】



PoC では、「AmiVoice API」による音声認識率と、DAL のデータ連携技術などの知見・経験を活かした生成 AI のプロンプト※2 作成技術により、高い精度で会話の内容をデータ化できることが実証され、音声を起点とした新しいデータプラットフォームの構築が可能となりました。

DAL とアドバンスド・メディアは、今回の PoC をきっかけに、今後も技術革新に向けて連携することを模索してまいります。

以上

※1 Proof of Concept : コンセプト実証

※2 AI ツールに対してユーザーが入力する「指示や質問」のこと

<利用されているソリューション>

音声認識 API 「AmiVoice API」

「AmiVoice API」は、国内シェア No.1 (※) の AI 音声認識 AmiVoice を展開するアドバンスド・メディアが、「AmiVoice Cloud Platform (音声関連技術を提供する開発者向けボイステックプラットフォーム)」で提供している AI 音声認識 API サービスです。API で連携したシステムに、発話のテキスト化といった音声認識機能が実装できます。高い認識率を活かしたリアルタイムでの書き起こしや、単語登録による固有名詞・社内用語の認識、「えっと」「そのー」「あのー」などの言い淀み (フィラー) の自動削除など多数の機能を備えています。

<https://acp.amivoice.com/>

(※) 合同会社 ecarlate 『音声認識市場動向 2024 音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場』による。

エンタープライズ・データ連携プラットフォーム「ACMS Apex」

<https://www.dal.co.jp/products/di/apex/outline.html>

データ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON」

<https://www.dal.co.jp/products/dhp/raccoon/outline.html>

◆株式会社データ・アプリケーション（DAL）について

DAL は、1992 年に UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI（電子データ交換）を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア

「ACMS（Advanced Communication Management System）シリーズ」を提供し、国内の EDI ソフトウェア市場でリーダーシップを確立しています。

企業間・部門間・クラウド・SaaS など分散したデータをボーダーレスにつなげるデータ連携ソリューションは、すでに 2,933 社 14,571 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。（導入数：2023 年 6 月末時点）

今後は、個人と組織がともに成長し続ける DIGITAL WORK を実現するために、企業をつなげる、データをつなげる、人をつなげる、そしてナレッジ（知識）をつなげる、「つなげる」ために必要な基盤技術「DAL PLATFORM」を提供してまいります。

【HP】 <https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【X】 https://twitter.com/dal_acms

【note】 <https://note.com/dataapplications/>

◆株式会社アドバンスト・メディアについて

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：ecarlate「音声認識市場動向 2024」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

<本件についてのお問い合わせ先>

株式会社データ・アプリケーション 経営企画管理本部
E-Mail : ir@dal.co.jp
Tel : 03-6370-0909

株式会社アドバンスト・メディア	
報道関係	お客様
経営推進本部 広報グループ	PF D&O 部
Tel : 03-5958-1307	
E-Mail : press@advanced-media.co.jp	E-Mail : info@advanced-media.co.jp

※現在、働き方改革の観点から、在宅勤務と出社のハイブリッド勤務推奨のため、お電話でのお問い合わせの場合、折り返しのお電話になりますことをご了承下さい。

※当資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。また、会社の業績に影響を与え得る事項の詳細内容につきましては、決算短信の「事業等のリスク」をご参照下さい。しかしながら、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

※ DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E2X, WebFramer, RACCOON, OCRtran, Placul は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標または登録商標です。

※ 本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。